

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 12 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	構成メンバーが民生委員、地域包括支援センター、事業所関係者と少なく、家族の参加も少ない。	自治会長、薬局、ボランティア等幅広く参加を呼びかけ、様々な視点から得られた意見をサービスの向上に活かす。	地域住民や関連業種施設へあいさつまわりをして、自施設のアピールや情報交換をおこない、交流を図っていく。	12ヶ月
2	35	規定の訓練、詳細なマニュアルはあるが地域との協力体制と全職員の訓練参加が今後の課題である。	地域住民と協力体制を築き、災害への実践的な訓練をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所を再確認、再周知する。 ・ご利用者の介護度を警察・消防署に伝える。 ・ご近所へ災害時の協力依頼をする。 ・災害の想定をして、模擬体験の訓練を実施する。 ・全職員に医療的な知識の研修をおこなう。 	12ヶ月
3	40	職員が普段の食事をご利用者と共にする機会がなく、味見もおこなう必要がある。	より美味しく、より楽しく食事できるように取り組みを構築する。	検食をして、個人の好みに合わせた味の調整をする。行事食の機会を増やし、ご利用者と一緒に食事を楽しむ事ができるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。